

元中だより



元吉原中学校HP

富士市立元吉原中学校
学校だより 第5号
令和5年9月28日

☆総合MET (Motoyoshiwara・Exploratory・Time) ～外部講師から学ぶ～☆

夏季休業明け8月29日(火)の総合METは、5つのコースの内、4つのコースで外部から講師をお招きして、いつも以上に充実した活動ができました。

食育コース「稲刈り」ではJAふじ伊豆元吉原支店の皆様方、檜地区の二見様をはじめ5人の農家の皆様方のご指導の下、5月に手作業で植えた稲が大きく実り、精米で約150kgの収穫がありました。



福祉コース「パラスポーツ体験」では、市社会福祉協議会ボランティアセンター職員3人の方にお越しいただき、その中国体車椅子スラローム競技出場の網敷様のご指導の下、生徒たちは慣れない手つきで車椅子を操作し、最終的にはスラローム競技のルールにしたがって、右左にカラーコーンをよけるだけでなく、後進にもチャレンジしていました。

防災コース「放水体験」では、磯部様をはじめ地元の消防団員8人の皆様方が、道路の消火栓から消防車にポンプをつなぎ、生徒たちに放水を体験させてくださいました。約30m先へとコントロールするには、下半身を固定して、全身でホースを制御させる必要があると実感しました。



黒潮太鼓コースは、地元で太鼓を叩いていらっしゃる勝地様と川住様から、経験に基づくコツを伝授していただきました。また、翌週には、平成8年度にこの曲を作曲した川原崎様に足をお運びいただき、曲に込められた思いなどを、直接お聞きすることができました。

どのコースの生徒も、講師が伝えてくださる教えから、日常生活や生涯に通じることを学ぶことができました。「講師の先生方、ありがとうございました！」

黒潮太鼓コースで講師の先生から学んだ榎本さん(2年)の感想

地域の方から太鼓を叩くときの疲れにくい叩き方や強弱のつけ方などを学び、太鼓を叩く技術が向上しました。また、作曲者の方からは、独特なリズムを表現することによって、聴いている人を魅了してほしいという熱い思いを感じました。聴き手の思いを押し量って太鼓を叩こうという気持ちになりました。

☆潮音祭 ～いよいよ明日開幕～☆

明日は潮音祭文化の部で、明後日は体育の部です。練習期間は3週間、2日分の練習を並行して行うことは、大変だったと思います。しかし、「期間内に、大縄跳びの練習は3回まで」などのルールを決めることで、熱が入りすぎないように工夫するなど生徒会による配慮は見事だったと思います。

大縄跳びの練習では、昨年度も経験したはずの2・3年生が苦勞している姿が見られました。しかし、さすが上級生！すぐにコツを取り戻していました。一方、1年生も半年間で培った学級の団結力を発揮し、どんどん回数を伸ばしていきました。当日は、下級生の“下剋上”が見られるかも…!?



種目責任者の木村さん(3年)の決意

3年生が参加する潮音祭は、これで最後になります。潮音祭に向けての私の一番の思いは、「全力で楽しむこと」です。結果がどうであれ、最後には皆で笑って終わる…、そんな情景を思い描きながら各種目に取り組みます。

全力で楽しむ3年生の姿から、後輩や保護者の皆様には何かを感じていただけるよう頑張ります！

☆市中体連駅伝競走大会 ～自分の限界に挑戦～☆



志願して集ったメンバーで駅伝チームを結成し、2カ月に渡る練習の末9月16日(土)市駅伝競走大会が行われました。真っ赤なユニフォームを着た選手たちが気持ちでタスキをつなぎ、結果は女子10位・男子6位でした。多くの選手が自己ベストを更新したことはもちろんのこと、疲れも見せず必死に仲間を応援する姿も称賛に値するものだと思います。